

独立行政法人国立病院機構災害医療センター  
平成 28 年度第 10 回受託研究（治験）審査委員会  
会議の記録の概要

開催日時：2017 年 3 月 22 日（水）16:00～16:40

開催場所：災害医療センター 9 階 特別会議室

出席者委員名：渡邊好造、正岡博幸、上村光弘、関口直宏、大林正人、大柴福子、下阪弘、  
香川祐一朗、渡邊恵一、藤本滋

欠席者委員名：佐藤康弘、小井土雄一、白檮山誠

～治験及び製造販売後臨床試験に関する議題及び審議結果を含む主な議論の概要～

【審議事項】

議題 1：エイツーヘルスケア株式会社の依頼による CD20 陽性 B 細胞性非ホジキンリンパ腫（NHL）を有する患者を対象とした ABP798 の有効性、安全性及び免疫原性をリツキシマブとの比較において評価する無作為化、二重盲検試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象および治験責任医師宛レターについて、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。  
治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 2：小野薬品工業株式会社の依頼による再発性の多発性骨髄腫患者を対象に carfilzomib 及びデキサメタゾンとボルテソミブ及びデキサメタゾンを比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。  
治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 3：小野薬品工業株式会社の依頼による再発及び難治性の多発性骨髄腫患者を対象にデキサメタゾン併用時のカルフィルゾミブ週 1 回投与と週 2 回投与を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。  
治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 4：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による PCI-32765 の第Ⅲ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき

審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題5：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による再発又は難治性の多発性骨髄腫の日本人被験者を対象にJNJ-54767414 (Daratumumab)をボルテゾミブ+デキサメタゾンと併用投与(D-Vd)する第Ib相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象および年次報告、治験期間の延長等について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題6：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした、Daratumumab、レナリドミド及びデキサメタゾン (DRd療法) とレナリドミド及びデキサメタゾン (Rd療法) の比較第III相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象および年次報告について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題7：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による未治療多発性骨髄腫患者を対象としたJNJ-54767414の第III相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象および年次報告について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題8：武田薬品工業株式会社の依頼による幹細胞移植歴のない初発の多発性骨髄腫患者を対象としたIxazomibの第3相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題9：武田薬品工業株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたIxazomib Citrate (MLN9708)の第3相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 10：武田薬品工業株式会社の依頼によるイキサゾミブの第Ⅱ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 11：大塚製薬株式会社の依頼による急性骨髄性白血病患者を対象とした SGI-110 の第Ⅲ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 12：大塚製薬株式会社の依頼によるメチル化阻害剤の前治療歴を有する成人の骨髄異形成症候群

(MDS) 又は慢性骨髄単球性白血病 (CMML) 患者を対象としたグアデシタピン (SGI-110) と医師選択による治療法の治療効果を比較する第Ⅲ相、多施設共同、無作為化、非盲検試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 13: Pearl Therapeutics, Inc. の依頼による中等症から最重症の慢性閉塞性肺疾患患者 (COPD)

を対象に PT010、PT003、および PT009 を投与したときの有効性および安全性を実薬対照の Symbicort® Turbuhaler® と比較検討する多施設共同 24 週間反復投与無作為化二重盲検並行群間比較試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 14： Pearl Therapeutics, Inc. の依頼による COPD を対象とした PT010、PT003、PT009

および Symbicort® Turbuhaler® の第Ⅲ相継続試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 15：大日本住友製薬株式会社の依頼による DSP-7888 の骨髓異形成症候群（MDS）患者を対象とした第 1/2 相臨床試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象、治験実施計画書分冊の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 16：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による elotuzumab の第 II 相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 17：MSD 株式会社の依頼による初発多発性骨髓腫を対象とした MK-3475 の第 III 相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象および措置報告について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 18：MSD 株式会社の依頼による MK-3475 の古典的ホジキンリンパ腫を対象とした第 III 相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 19：大鵬薬品工業株式会社の依頼による Pro-NETU の第 II 相試験

- 当該治験薬に関する年次報告について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 20：アッヴィ合同会社の依頼による再発又は難治性の多発性骨髓腫患者を対象とした venetoclax の第 III 相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象および年次報告、患者日誌の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 21：アステラス製薬株式会社の依頼による腎性貧血（透析期）を対象とする ASP1517 の第Ⅲ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 22：アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とする ASP2215（初発）の第Ⅲ相試験

- 当該治験薬および対照薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 23：アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とする ASP2215 の第Ⅲ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象、説明同意文書の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 24：セルジーン株式会社の依頼による未治療の多発性骨髄腫の日本人患者を対象としたレナリドミドの低用量デキサメタゾン併用による第Ⅱ相多施設共同単群オープンラベル試験

- 治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 25：大塚製薬株式会社の依頼による OCV-501 の第Ⅱ相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 26：株式会社新日本科学 PPD の依頼による濾胞性リンパ腫患者を対象に CT-P10 とリツキサンの有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相試験

- 治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

審議結果：承認

【報告事項】

特になし。

【特記事項】

特になし。